

やへんし

2013
第15号

私たちは、24時間
質の高い医療を提供し
皆様に、
安心・信頼・満足
していただける
病院を目指します。

北九州市立八幡病院 職員一同

INDEX

巻頭言	1	平成23年度 患者満足度調査(外来)	6
連携医療機関のご紹介	2	診療体制表	裏表紙
特集:小児救急センターの歩みと展望	3~5		



卷頭言



病院長
市川 光太郎

世の中の惨事は尽きぬことなく、存在し続けるのでしょうか？トンネルの落盤事故には驚愕を覚えたり、助かったヒト、犠牲になったヒトの分かれ道を考えるとまさに天国と地獄の違いに匹敵するでしょう。高度成長期に造成されたインフラは沢山あるものの、何故か、われわれ高度成長期に育った年代はあの国土や社会の利便性等を変えたインフラ群に畏敬の念を持つてしまい、永遠の創造物と勘違いしていたようで、とても崩壊するなど想いも馳せず、想定外と信じ込んでいたようです。

期せずして当院の建築年数も西棟35年、東棟31年とともに、滑落トンネルと同じ年代である。実際に、トンネルの耐用年数は、約40年は大丈夫などと根拠のない予測がされていたようですが、皮肉も人災とも言えるような事故を起こしてしまいました。中央や地方自治体の行政も国民も

慌てて同世代のインフラの安全性を問題視するようになったものの、そのチェックやメンテナンスの財源さえおぼつかない状況であることが強調されています。

幸いにも当院の新築移転が尾倉小学校跡地に決定し、いまから5年後の平成29年春の稼働開始の予定です。春になれば、丸4年間で新病院に変わるわけですので、新しいインフラへの変更を決定してくださった市行政の首長とその補佐の皆さんに心から御礼を申し上げます。あと数年間事故なくインフラが稼働することを願いながら、新病院への期待は現場に居るがゆえに、あるいは古いインフラの不安を目の当たりにしているだけに、否が応でも高まっています。いかに、安全且つ機能性に富んだ新病院にするかは、財源を握る市当局との戦いになるでしょう。市民に開かれた病院として、親しみある病院にしなければなりません。心の不安、身体の傷病での駆け込み寺となるのはもちろんのこと、地域災害で市民を守る避難所機能のある新病院としたいと願い、色々な斬新なアイデアの結集した新病院をと期待を膨らませています。

基本方針

1. 医療の安全に万全を期し、科学的根拠に基づく、質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの生命の尊厳とプライバシーを守り、患者さん中心の医療を行ないます。
3. 保健・福祉・医療機関と連携し、地域社会への積極的な医療貢献を果たします。
4. 教育・研鑽に努め、専門的な知識、熟練した技能をもって、信頼と責任ある医療を提供します。
5. 公共性、経済性を考慮した健全経営に努めます。

連携医療機関のご案内

医療法人 ひらた 胃腸内科 小児外科 クリニック



当院は平成20年3月八幡駅の駅舎の改築と同時に開院しました。「患者さんにとって身近な医療機関でありたい」と考えています。

胃腸内科、特に内視鏡検査を中心に診療を行っていますが、基本は、いつどんな症状でも患者さんのご相談にのることができます。気軽に身近な「町の保健室」そんな診療所でありたいとスタッフと共に日々の診療を行っています。親近感のあるクリニックであり、しかも、信頼のある医療を行い、地域医療に少しでも貢献できればと考えています。

八幡地区には大きな病院が、市立八幡病院をはじめ3か所あります。その中の、当院の役割は、早く病気を見つけ、適切に専門医に橋渡しを行うことだと思います。胃癌、大腸癌を発見したり、急性虫垂炎や急性胆のう炎をきちんと診断できた時などは、正直、「良かった」とほっとします。患者さんにとって病気が見つかることは「良くない」ことでありますが、「良かった」と思う気持ちの大切なことであると先輩の医師から指導を受けました。「診断できて良かった」という気持ちを積み重ねることが診断技術を高め、次につながるそうです。この気持ちちは今後も大切に持ち続け、日常診療を行おうと思っています。

地域の先生方のご紹介もあり、当院では、内視鏡検査をたくさん施行させてもらっています。今では、内視鏡検査は一般的な検査であり、どこでも気軽に

受けることができます。そのような検査ですが、最も大切なことは、(きちんと診断することは当然ですが)検査を受けた患者さんに「もう来年以降は受けたくない」と負のイメージをもたれないようになる事だと思います。苦痛の少ない検査になることで、毎年検査を受ける人が増えて欲しいと思うからです。

これからも、市立病院の先生方の指導のもと、地域の皆様の少しでも健康にお役に立てればと思っております。よろしくお願ひいたします。



ひらた 胃腸内科 小児外科 クリニック
北九州市八幡東区西本町3丁目6-1 八幡駅ビル
TEL. (093) 663-1415

駐車場は、駅の立体駐車場をご利用下さい。
内視鏡検査希望の方は、お電話でご予約をお願いいたします。
初診の方、月初めの受診の際には健康保険証をご持参下さい。

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~13:00	○	○	○	○	○	○
午後 14:30~18:00	○	○	○	○	○	

休診日／日曜・祝日



小児救急センターの歩みと展望

小児救急センター長・小児科主任部長 神 薦 淳 司

北九州市立八幡病院小児救急センターの歩みは、約30年前から市川光太郎現病院長を初めとした延べ250名を超える同僚や先輩方により脈々と流れ築かれた小児救急医療におけるSpirit & Experience based Medicine（精神と経験に基づく医療）の歩みそのものだったと換言ができます。現役で日常の小児救急医療・医学に従事する私たちにとって多様化する課題に直面したときの何よりの大きな支えとなっています。

本稿では、小児救急センターの臨床・研究・教育の現状と新病院における小児救急センターの構想に向けた将来の展望をご紹介させていただき、皆様方の今後も変わることのないご指導とご助言を頂きたいと考えています。

臨 床

豊富な臨床症例に恵まれたことは、近隣の総合病院小児科・久留米大学小児科・産業医科大学小児科の先生ならびに北九州地区・遠賀中間・筑豊地区の多くの諸先輩方と院内の外科（小児外科）・形成外科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科の諸外科系診療科の先生方に支えられていることの証に他なりません。

2008年に病棟を再編いたしました。西4階病棟48病床（うち個室8室）東4階病棟46病床（うち個室9室）ICU8病床（他科と併用）の計最大102病床を小児救急センター病棟として稼働するにいたりました。診療所や近隣の総合病院からの救急搬送や紹介患者を断る事例は皆無となりました。2011年、時間外受診を含む外来年間患者受診者数は51,000名にのぼり、救急搬送は約900件、最近数年間入院者数は平均3,800名に達しています。外傷を含めた全ての子どもの対応が可能となっています。

トリアージと急変対応システム

このような受診者数・入院者数の増加は、必然的に効率的・効果的な医療すなわち安全で質の高い医療を求められるようになりました。臨床面でのシステム導入による改革の一つが、2006年に全国に先駆けて小児救急トリアージ制度を導入しています。救急外来という限られた時間内に要求されるトリアージの実際には、意識的な「語りの医療Narrative Based Medicine（NBM）」の態度が不可欠となります。虐待に代表されるマルトリートメント症候群や育児困難が潜在する家庭機能不全などの子どもを取り巻く複雑な社会的・経済的背景を瞬時に察知し配慮することができる能力を緊急度評価と同時にシステムに包括し、小児救急医療に求められる社会的ニーズに備えています。

2011年からは、医療安全の推進の側面から全ての入院患者に対し、「小児早期警告システム」を導入いたしました。看護師・医師間で共有し、院内急変を予測し、未然に対処できるように日常のフィジカルアセスメントと病態評価をスコア化した急変対応システムです。院内・外に開かれた小児集中治療と管理が可能となるように整備いたしました。

臨 床 研 究

臨床研究とは豊富な症例からエビデンスを見いだす作業であると考えています。素朴な疑問に立ち止まり、リサーチ・マインドを持ち続ける若き医師が新しいエビデンスを作り出す機運を尊重しています。この雰囲気作りは、スタッフ全員による毎日の早朝カンファレンスと365毎日全

員で実施される総合ラウンド回診、毎週の抄読会・症例検討会により繰り返し伝えられ、個々の発展的で地道な作業を可能にしています。最近五年間は、日本小児科学会・日本小児救急医学会・日本救急医学会・日本臨床救急医学会を中心年間平均約60の臨床研究を継続的に発表および論文で結果を残すことができています。

小児救急看護領域でも、2007年当センターを支える看護師の中から二名の日本看護協会小児救急認定看護師が誕生しました。800時間を超える「小児救急看護」に特化した講義・実習を修了し、厳しい認定試験に合格したエキスパート看護師です。院内・外教育のリーダーとしての存在意義は大きく、既に前述のトリアージや育児不安への対応などを数量化した看護研究が実践されています。

教 育

教育面では臨床研修グループを3つに分け、7-15年目の小児科学会専門医が臨床面で指導にあたっています。小児救急診療の基本となる外観・意識や呼吸・循環の評価とバイタルサインに基づいた病態生理の評価を迅速にでき、簡潔に伝える能力の修得を目標としています。また小児の二次心肺蘇生教育(PALS)も院内で定期的に正式開催できるようになりました。

このような初期診療の重要性をテーマに病院

外でも教育する機会も得られています。2007年以降6年間北九州市保健福祉局の協力で主催した「小児救急ワークショップ 小児救急トリアージ」「小児早期警告スコアリング・システム」は、全国の小児救急に関わる看護師・救命士総勢延べ400名の参加のもとに、活発な意見交換と議論が展開されました。小児救急に関する本邦初の参加型ワークショップとなり、日本小児救急医学会教育研修委員会主催「教育セミナー」においても私たちの経験を伝承しています。

2012年現在、後期研修医6名と初期研修医1名を含む23名の医師が勤務しています。出身大学や郷土の違いから全国各地の方言が飛び交っています。外来や病棟では、小児救急専門看護師を中心に看護師・保育士・心理士を含む小児救急チームが形成されました。「チームのために何ができるか?」を考える力を継続していく土台が完成したといえます。

「医療は優しく、医学は厳しく

市川光太郎先生へ 川崎富作」

外来診療には、ふと見上げれば川崎富作先生が送った院長宛への筆書きが目に飛び込んできます。

来院する子ども達や親に優しくなれた(実行)とき、同時に強くなった医療者としての自分を感じる(実感)。この実行と実感の繰り返しは、小児救急医療における臨床・研究・教育へと発展し、継続することが可能となりました。



小児救急センター 理念

来院する全ての子どもたちの状態を
すみやかに評価し、
緊急性に応じた
質の高い診療を目指します。

次代を担う子どもたちの成育のために
ご家族への支援とともに、
暖かい総合医療を
継続的に提供いたします。

北九州市立八幡病院 小児救急センター

将来の展望

2012年8月北九州市議会に提出された4年半後(2017年4月)の八幡病院移転と新病院計画(案)が来年いよいよ具体化していきます。新小児救急センターでは、①小児専門集中治療室(PICU)②ドクターカーやヘリによる小児搬送医療の充実 ③リハビリテーション・療育機能センター ④臨床研究センター機能 ⑤小児血液腫瘍疾患・小児神経疾患さらなる専門的診断治療を提供できるように目標を掲げています。

理念として掲げる「来院する全ての子どもの健康と安全を守る質の高い救急医療と継続的な総合医療」の変わらぬ提供を本稿の読者にお約束します。普遍的な「実行と実感」を地道に繰り返し、子どもたちや家族に「一緒にいてくれて有り難う」と感じてもらえる医療チームであり続けたいと考えています。

外来診療案内

小児救急センターの外来診療室は現在第2夜間休日急患センター棟内に移転しています。診察室5つと児童精神・心理室1つの6つのブースを有し、ベッドによる観察室8つと処置室4つのベッドで外来部門が稼働しています。移転により24時間365日同じブースで診療体制を組むことができました。休日・夜間ともスタッフが常に3人勤務し、救急部看護師とともに小児ERとして外傷や重篤小児の受け入れを可能としました。一般外来の診察担当医師一覧を下記にお示しいたします。

 緊急連絡電話番号
093-662-6565

 小児救急センター **facebook**
YAHATA.PED

小児救急センター診察担当医師一覧

2012.12.25 現在

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
外来トリアージ	医師4名		医師3名		医師3名		医師3名		医師4名	
診察室1	市川光太郎 (初診)	【予約制】	山根浩昌		市川光太郎	【予約制】 市川光太郎	松島卓哉	【予約制】	市川光太郎	【予約制】
診察室2	小野佳代 石橋紳作	【外傷外来】 八坂龍広 (竹井真里)	天本正乃	【乳児検診】 富田一郎 山本剛士	天本正乃 (初診)	【内分泌・膠原病】 小野佳代	西野 裕	【神経】(4) 松石豊次朗 天本正乃	天本正乃 (初診)	【腎臓】 山根浩昌 金 奉吉
診察室3	神菌淳司		神菌淳司 (初診)	【予防接種】 富田一郎 山本剛士	今村徳夫	【血液腫瘍】 神菌淳司	神菌淳司 (初診)	【夜尿症】 (1235) 今村徳夫	今村徳夫	【予防接種】 富田一郎 山本剛士
診察室4	西野 裕		金 奉吉		山根浩昌		富田一郎 石橋紳作	【外傷外来】 小野友輔 長嶺伸治	金 奉吉	
診察室5		【急患紹介】 今村徳夫		【急患紹介】 松島卓哉		【急患紹介】 八坂龍広		【急患紹介】 西野 裕		【急患紹介】 石橋紳作
エコー検査室	小野友輔		小野友輔 【循環器】 家村素史 志村紀彰		小野友輔		小野友輔		小野友輔	【循環器】 西野 裕 志村紀彰
心理検査室	蟻木聰子	【認知機能】	蟻木聰子		蟻木聰子	蟻木聰子	蟻木聰子	蟻木聰子	蟻木聰子	蟻木聰子

患者満足度調査「外来」の結果について

外来委員会委員長 太崎 博美

1 アンケートの実施概要

1、アンケートの実施概要

- (1) 実施時期 平成24年1月25日(水)及び1月27日(金)の2日間
 (2) 調査対象 外来患者
 (3) 調査概要 職員の対応や施設の利便性、病院の印象などについて5段階で調査を実施
 (4) 回答数 配布数329件 回収率87.5%

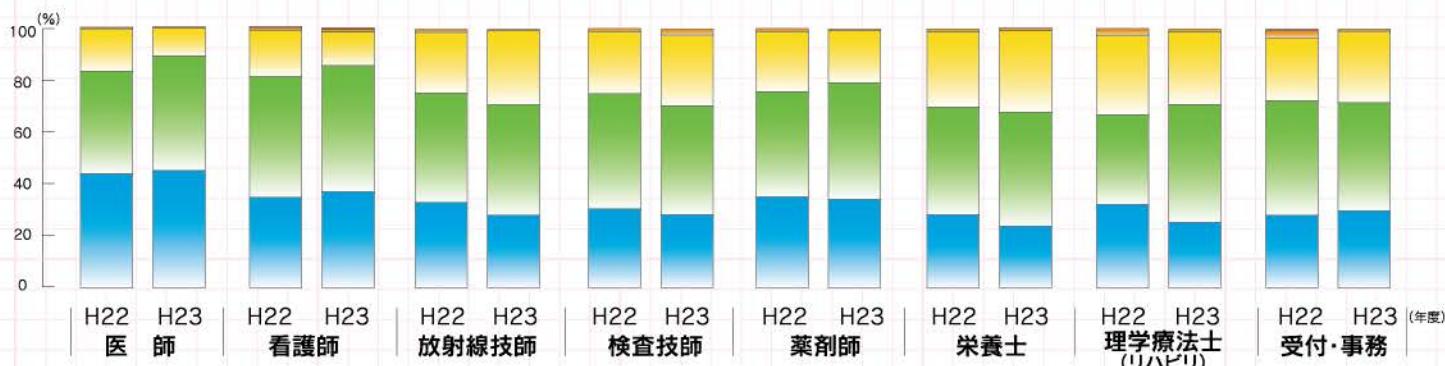
2 調査項目及び集計結果

※一部抜粋 ■ 非常によい ■ よい ■ 普通 ■ 悪い ■ 非常に悪い

未回答のdataは除いてグラフ化

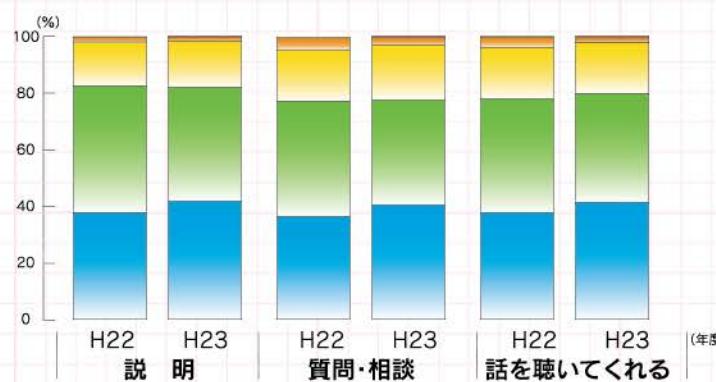
職員の「言葉使い・態度・身だしなみ」について

医師・看護師ともに「非常に良い」「よい」の評価が8割を超えることから、昨年より高い評価を得ており、「医師は親しみやすく、信頼できます」「看護師はとても親切でやさしい」との意見をいただいている。コ・メディカルについては、関わった患者が少なかったためか昨年と同様に無回答が多数であったと考えられる。一方「悪い・非常に悪い」の評価は昨年より減少しており、今後も全職員接遇向上に努めていきたい。



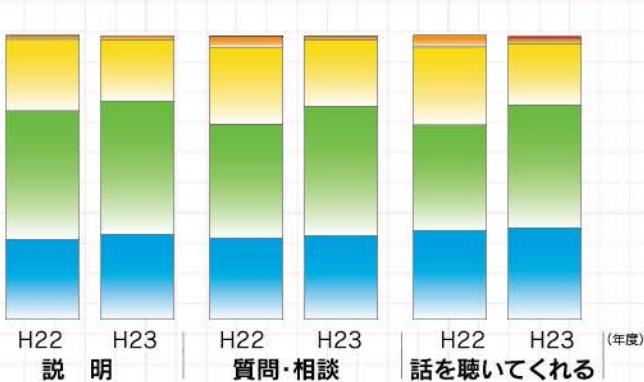
医師の対応について

すべての項目において「非常によい・よい」の評価が7割を超え、昨年より高い評価を得ている。しかし、昨年より減少しているが「悪い」の評価があり、「医師は、もう少し患者に傾聴して欲しい」との意見が聞かれた。ゆとりのある親切な対応が求められる。



看護師の対応について

看護師への「非常によい・よい」の評価は昨年より高く7割を超えている。しかし、一方で「看護師の一部の職員が無愛想」との意見があり、わずかではあるが「悪い」との評価があった。患者さんに親切で丁寧な対応を心がけていきたい。



さらくら第15号でご案内する連携医療機関は、医療法人ひらたクリニッカです。お忙しい中でのご寄稿、大変ありがとうございました。
 特集は小児救急センターの歩みです。ぜひご一読ください。

さて、八幡病院の新築移転が決まりました。地域に役立つ新病院をめざし、次回からは当院各診療科の取り組みの様子を紹介していく予定です。 (広報委員会 委員長 伊藤重彦)

診療体制

平成25年1月1日現在

科名	受付時間	月	火	水	木	金
内科	8:00~11:00					
	呼吸器 公害喘息・じん肺・禁煙	小田 桂士	粟屋 幸一 (金曜午後ののみ予約制)	粟屋 幸一	加藤 達治	吉田 有吾 城戸 優光
	糖尿病	須貝 慧		黒住 旭		新生 忠司 末永 章人
	精神経		末永 章人			
	消化器	白玉 瞳人			白玉 瞳人	
	膠原病					中野 和久
一般内科		小住乃理子	吉田 有吾	小住乃理子	小住乃理子	
循環器内科	8:00~11:00					
	循環器全般	小住 太崎 清志 太崎 博美	太崎 博美 屏 壮史 脂質異常症	原田 敬 上野 啓通 総合血管内科	太崎 博美 小住 清志 脂質異常症	田中 正哉 高橋 正雄
	専門外来		肺高血压症		肺高血压症	
小児科	8:00~11:00	市川光太郎 小野佳代 石橋紳作 神園淳司 西野裕	山根 浩昌 天本正乃 神園淳司 金奉吉	市川光太郎 天本正乃 今村徳夫 山根浩昌	松島卓哉 西野裕 神富淳司 田橋一郎 紳作	市川光太郎 天本正乃 今村徳夫 奉吉
	8:00~11:00					
外科	8:00~11:00	野口 純也	伊藤 重彦	山吉 隆友 馬場雅之 岡本好司	渋谷亜矢子	伊藤 重彦 長尾祐一 山吉隆友
	一般外科					
	消化器・肝臓外科	岡本 好司	木戸川秀生		木戸川秀生	
整形外科	8:00~11:00	樹屋 隆太 野口 雅夫 太田 貞悟 (第2・4週) 萩原 弘 (第1・3・5週)	乗松 崇裕 辻 正二	野口 雅夫 萩原 弘	樹屋 隆太 乗松 太田 崇裕 眞悟	野口 辻 雅夫 正二
	14:00~16:00脊椎					
	8:00~11:00	李 龍二 北川 恵理	田崎 幸博 李 龍二	和田 政浩	北川 恵理	田崎 幸博 李 龍二
形成外科	8:00~11:00					
	8:00~11:00口蓋裂・口蓋裂外来				田崎 幸博	
脳神経外科	8:00~11:00	越智 章	岩永 充人	野田 満	越智 章	岩永 充人 野田 満
皮膚科	8:00~11:00	藤野 雅世	藤野 雅世	藤野 雅世	藤野 雅世	藤野 雅世
泌尿器科	8:00~11:00	森下 直由 岡田英一郎	森下 直由 岡田英一郎	森下 直由 岡田英一郎	森下 直由 岡田英一郎	森下 直由 岡田英一郎
産婦人科	8:00~11:00	王 志洪	王 志洪	王 志洪	王 志洪	王 志洪
眼科	8:00~11:00	武末 佳子	武末 佳子	武末 佳子	武末 佳子	武末 佳子
耳鼻咽喉科	8:00~11:00	佐伯 有祐				
精神科	8:00~11:00	麻生 裕明	麻生 裕明	麻生 裕明	麻生 裕明	麻生 裕明
歯科	8:00~11:00	白石 康子	白石 康子	白石 康子	白石 康子	白石 康子
放射線科	8:00~12:30超音波検査 消化管造影(予約のみ)	岡上 明正 今福 義博	岡上 明正 今福 紹美	岡上 明正 今福 修一	岡上 明正 今福 義博	岡上 明正 今村 紹美
ペインクリニック	8:00~11:00(月・木曜日)	神崎 修一	今福 義博	今福 義博	今福 義博	神崎 修一
健康診断	8:00~10:30	石田 昌一				
乳幼児検診	13:00~14:30(第5週除く)	内科・循環器内科	内科・循環器内科	内科・循環器内科	内科・循環器内科	内科・循環器内科
小児科						

外来診療時間 初診・再診受付:午前8時~午前11時 ※ただし急患はこの限りではありません

第2夜間・休日急患センター

一般病院や診療所が診療していない
時間帯に急患の診療を行う施設です。

診療科	診療時間
内科	平 日 午後7:30~午後11:30
外科	日・祝祭日 午前9:30~午後11:30
※受付は診療終了時間の30分前までです。	

北九州市立八幡病院

<http://www.yahatahp.jp>
ホームページが一新されました

〒805-0061 北九州市八幡東区西本町4丁目18-1
TEL (代表)093-662-6565 FAX 093-662-1796
(第2夜間・休日急患センター:093-662-1759)

八幡病院広報誌「さらくら」第15号

2013年1月15日発行

発行・編集:八幡病院広報委員会 (年3回発行予定)

印刷:(株)小田謙印社 TEL 093-621-3381

ACCESS

JR鹿児島本線:JR八幡駅から徒歩8分
西鉄バス:八幡駅前から徒歩5分
市立八幡病院前から徒歩1分



小児救急センター

すべての小児急患(一次から三次まで)を
24時間365日受け付けています。

診療時間	24時間365日体制
診療科	●小児科

facebookページ開設しました!

北九州市立八幡病院

検索